



取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

輸入発売元

株式会社 ドリテック

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

URL : <http://www.dretec.co.jp>

お客様相談センター

0120-875-019

(受付時間 : 月～金 10 : 00～12 : 00, 13 : 00～16 : 00
祝祭日および当社指定休日を除く)

■保証規定

- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
- ※ 誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、改造、分解、天災、地変等による故障または損傷。
- ※ ご使用上に生じる外観の変化。
- ※ 本保証書に販売店、およびお買上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- ※ 本保証書のご提示がない場合。
- ※ 一般家庭以外（例として、業務用としての使用）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- 電池は保証対象外です。
- お買上げ後 1 年間の保証期間内に、取扱説明書にそった正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- この保証書は本書に明示した期間において無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
対象部品:本体
保証条件:持込修理
保証期間:お買上げ日より1年以内

保証書	お買上げ年月日 お買上げ店
	お名前 ご住所
	お電話番号

■電池寿命

本製品は新しい正常な電池を組み込んだ場合、約1年間作動します。製品に組み込まれている電池は動作確認用電池ですので、表示期間より電池寿命は短い場合があります。

■製品仕様

時計精度	平均月差±30秒以内(常温20℃時)
防滴仕様	JIS C 0920 IPX2 相当
使用温度範囲	－10℃～＋50℃以内
使用電池	単3形乾電池×1個(動作確認用電池付)
電池寿命	約1年

■お手入れ方法

- 1)本体の汚れはかたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をふきんにつけて拭き取ってください。
- 2)お手入れの際、シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなどは使わないでください。変色、変形、破損のおそれがあります。

■製品についてのお願ひ事と注意

- 1)本製品は防滴構造になっておりますが、耐水圧タイプではありませんので、水中に入れたり水洗いなどは避けてください。
- 2)大型スピーカーなどの強い磁気の近くや大型モーター、ミキサー、ポンプ付近の振動の激しい場所に置かないでください。
- 3)加熱、分解、充電、改造、水中や火中でのご使用は避けてください。
- 4)落下や衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。

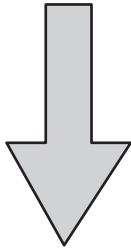
⚠ 電池についての警告

- ショート、分解、加熱、火に入れないでください。発熱、液漏れ、破裂の原因になります。
- 電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだ場合には、直ちに医師に相談してください。
- アルカリ電池の場合、万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合はきれいな水で洗い流し、目に入ったときはきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 電池を廃棄する場合および保存する場合には、テープなどで絶縁してください。他の金属や電池とまじると発火、破裂の原因になります。

⚠ 電池についてのご注意

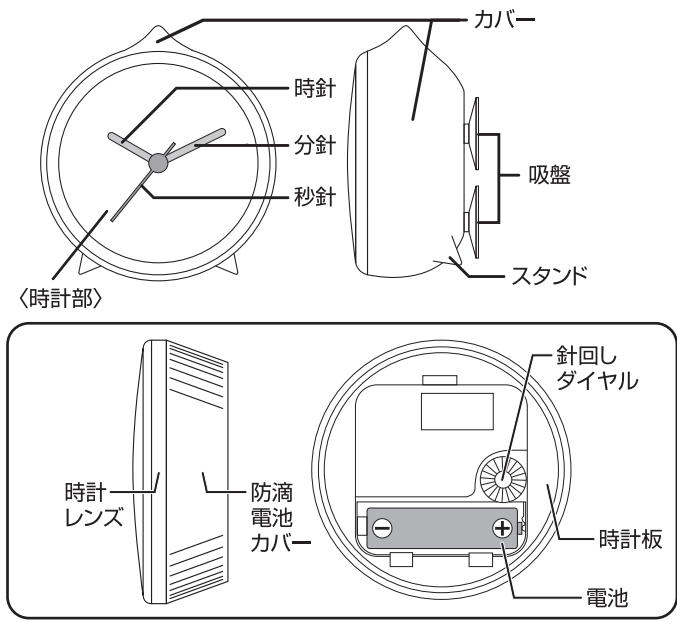
下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液漏れや破裂のおそれがあり機器の故障、けがの原因となります。

- ※ 電池の極性(＋－)を正しく入れてください。
- ※ 使い終わった電池はすぐに器具から取り出してください。
- ※ 長期間使用しない場合は電池を取り出しておいてください。



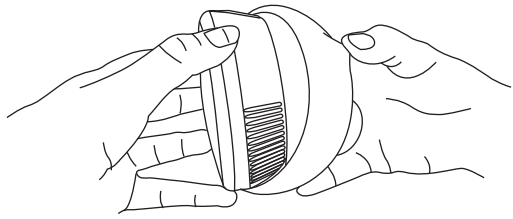
裏面に続く

■ 各部の名称

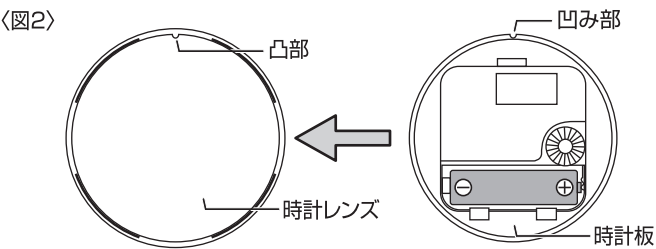
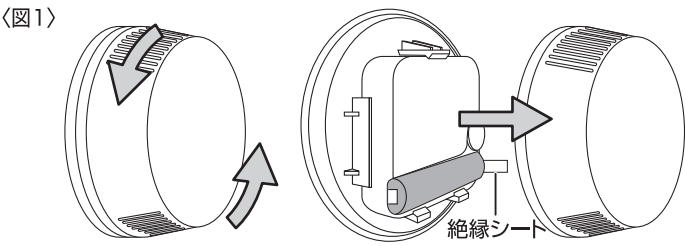


■ ご使用の前に

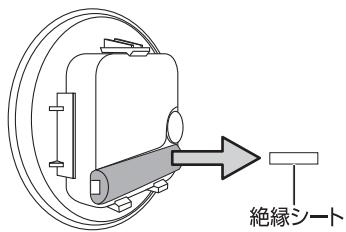
- 1) カバー上部の突起部に親指をひっかけて持ち、吸盤を前方に押しして中の時計部を取り出します。



- 2) 時計部の時計レンズを持ち、裏側の防滴電池カバーを反時計回りに止まるまで回転させ、取りはずします。〈図1〉この際に、時計レンズから時計板がはずれてしまった場合は〈図2〉のように時計レンズ内側の凸部と時計板の凹部を合わせるように時計レンズに入れてください。

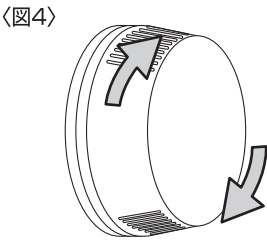
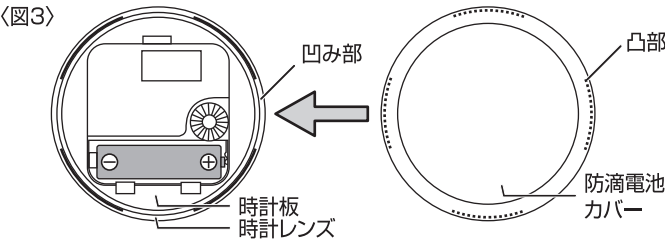


- 3) 絶縁シートを引き抜いてください。



■ 時計の合わせかた

- 1) 針回しダイヤルを回して、時・分針を合わせます。
2) 防滴電池カバーの凸部を時計パネルの凹部に合わせ〈図3〉、時計回りに止まるまで回転させます。〈図4〉



- 3) カバーの中に時計部を戻します。

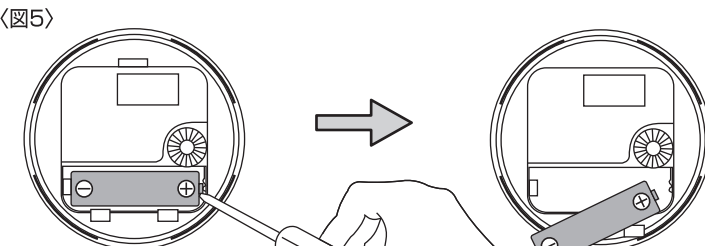
■ 時計の取付けかた

- 1) 壁に付ける場合
取り付け面の汚れをよく落とし、3つの吸盤に均等に力が加わるように壁に押し付けてください。
※吸盤で取り付けることができる壁面は、平滑なタイル・金属・プラスチック・ガラス・鏡などである必要があります。
※吸盤は長い間に徐々に空気が入り込みます。時々付け直してください。
2) 置く場合
スタンドを利用して、平らで安定した場所に置いてください。

■ 電池交換 (使用電池: 単3形乾電池×1個)

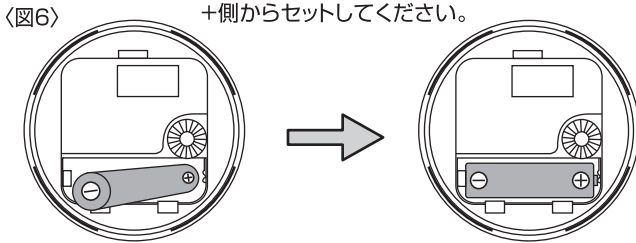
電池容量が少なくなってくると、時刻の遅れが生じたり、針が動かなくなります。電池交換の目安にしてください。電池交換は以下の手順でおこなってください。

- 1) 「ご使用の前に」と同じ方法で防滴電池カバーを取りはずします。
2) 古い電池を抜き取り、〈図5〉新しい電池の極性(+-)の向きを間違えないよう+側からセットし〈図6〉、時計を再度合わせてください。



電池の取りはずしが困難な場合はマイナスドライバー等を使うと簡単に電池ははずす事ができます。

※電池が飛び出すことがありますのでご注意ください。



- 3) 「ご使用の前に」と同じ方法で防滴電池カバーを戻します。
4) カバーの中に時計部を戻します。
※電池を廃棄するときは、お住まいの自治体の指示に従ってください。